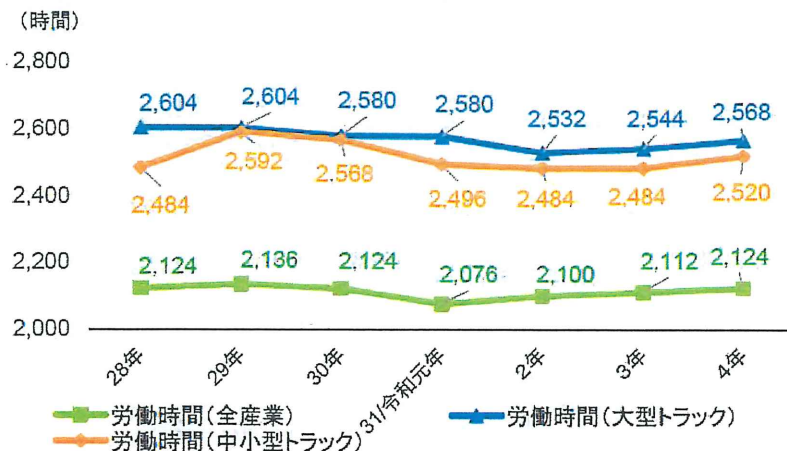
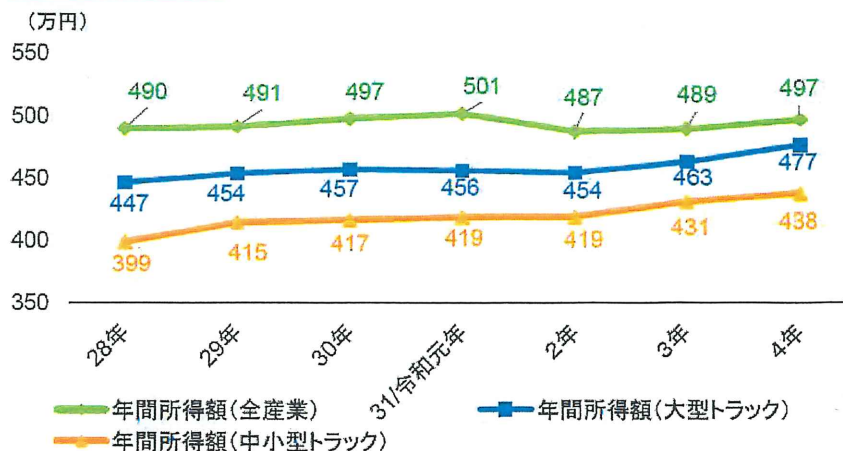


# トラック運送事業の働き方をめぐる現状

## ①労働時間 全職業平均より約2割(400h~450h)長い。



## ②年間賃金 全産業平均より5%~15%(20万~60万円)低い。



## ③人手不足 全職業平均より約2倍高い。

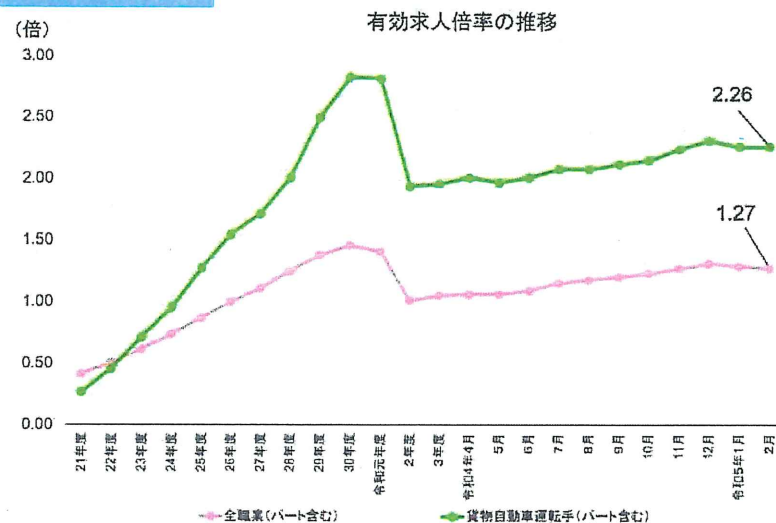


表1-3-1 脳・心臓疾患の請求件数の多い職種(中分類の上位15職種)

| 令和4年度 |              |                       |                           |
|-------|--------------|-----------------------|---------------------------|
|       | 職種(大分類)      | 職種(中分類)               | 請求件数                      |
| 1     | 輸送・機械運転従事者   | 自動車運転従事者              | 144 ( 1 )<br>< 45 ( 0 ) > |
| 2     | 販売従事者        | 商品販売従事者               | 48 ( 17 )<br>< 13 ( 2 ) > |
| 3     | 保安職業従事者      | その他の保安職業従事者           | 44 ( 1 )<br>< 16 ( 0 ) >  |
| 4     | 販売従事者        | 営業職業従事者               | 41 ( 4 )<br>< 13 ( 1 ) >  |
| 4     | 建設・採掘従事者     | 建設従事者(建設躯体工事従事者を除く)   | 41 ( 1 )<br>< 15 ( 0 ) >  |
| 6     | 事務従事者        | 一般事務従事者               | 38 ( 10 )<br>< 7 ( 0 ) >  |
| 6     | サービス職業従事者    | 飲食物調理従事者              | 38 ( 12 )<br>< 5 ( 0 ) >  |
| 8     | サービス職業従事者    | 介護サービス職業従事者           | 35 ( 16 )<br>< 10 ( 3 ) > |
| 9     | 運搬・清掃・包装等従事者 | 運搬従事者                 | 32 ( 4 )<br>< 10 ( 1 ) >  |
| 10    | 運搬・清掃・包装等従事者 | 清掃従事者                 | 27 ( 11 )<br>< 6 ( 1 ) >  |
| 11    | サービス職業従事者    | 接客・給仕職業従事者            | 24 ( 6 )<br>< 6 ( 1 ) >   |
| 12    | 管理的職業従事者     | 法人・団体管理職員             | 22 ( 2 )<br>< 7 ( 0 ) >   |
| 13    | サービス職業従事者    | その他のサービス職業従事者         | 20 ( 4 )<br>< 4 ( 0 ) >   |
| 14    | 生産工程従事者      | 製品製造・加工処理従事者(金属製品を除く) | 18 ( 7 )<br>< 5 ( 1 ) >   |
| 15    | 専門的・技術的職業従事者 | 建築・土木・測量技術者           | 17 ( 0 )<br>< 5 ( 0 ) >   |

注 1 職種については、「日本標準職業分類」により分類している。  
2 ( )内は女性の件数で、内数である。  
3 < >内は死亡の件数で、内数である。

表1-3-2 脳・心臓疾患の支給決定件数の多い職種(中分類の上位15職種)

| 令和4年度 |              |                       |                          |
|-------|--------------|-----------------------|--------------------------|
|       | 職種(大分類)      | 職種(中分類)               | 支給決定件数                   |
| 1     | 輸送・機械運転従事者   | 自動車運転従事者              | 57 ( 1 )<br>< 20 ( 1 ) > |
| 2     | サービス職業従事者    | 接客・給仕職業従事者            | 13 ( 3 )<br>< 5 ( 1 ) >  |
| 3     | 販売従事者        | 商品販売従事者               | 11 ( 1 )<br>< 2 ( 1 ) >  |
| 3     | 管理的職業従事者     | 法人・団体管理職員             | 11 ( 1 )<br>< 8 ( 1 ) >  |
| 5     | 専門的・技術的職業従事者 | 建築・土木・測量技術者           | 10 ( 0 )<br>< 6 ( 0 ) >  |
| 6     | 販売従事者        | 営業職業従事者               | 8 ( 0 )<br>< 1 ( 0 ) >   |
| 6     | サービス職業従事者    | 飲食物調理従事者              | 8 ( 2 )<br>< 0 ( 0 ) >   |
| 6     | 建設・採掘従事者     | 建設従事者(建設躯体工事従事者を除く)   | 8 ( 0 )<br>< 2 ( 0 ) >   |
| 9     | 事務従事者        | 一般事務従事者               | 6 ( 2 )<br>< 1 ( 1 ) >   |
| 10    | 管理的職業従事者     | その他の管理的職業従事者          | 5 ( 0 )<br>< 0 ( 0 ) >   |
| 10    | 保安職業従事者      | その他の保安職業従事者           | 5 ( 0 )<br>< 1 ( 0 ) >   |
| 12    | 運搬・清掃・包装等従事者 | 運搬従事者                 | 4 ( 0 )<br>< 1 ( 0 ) >   |
| 12    | サービス職業従事者    | 介護サービス職業従事者           | 4 ( 1 )<br>< 0 ( 0 ) >   |
| 12    | 専門的・技術的職業従事者 | 教員                    | 4 ( 0 )<br>< 1 ( 0 ) >   |
| 15    | 生産工程従事者      | 製品製造・加工処理従事者(金属製品を除く) | 3 ( 0 )<br>< 0 ( 0 ) >   |
| 15    | 専門的・技術的職業従事者 | 医師、歯科医師、獣医師、薬剤師       | 3 ( 1 )<br>< 1 ( 0 ) >   |
| 15    | 専門的・技術的職業従事者 | 情報処理・通信技術者            | 3 ( 0 )<br>< 0 ( 0 ) >   |
| 15    | 管理的職業従事者     | 法人・団体役員               | 3 ( 0 )<br>< 1 ( 0 ) >   |
| 15    | 運搬・清掃・包装等従事者 | 清掃従事者                 | 3 ( 1 )<br>< 1 ( 1 ) >   |

注 1 職種については、「日本標準職業分類」により分類している。  
2 ( )内は女性の件数で、内数である。  
3 < >内は死亡の件数で、内数である。

トラック運送業界の働き方改革について

○ドライバーの時間外労働の上限規制**年960時間の対応**(令和6年4月から)

※違反すると… 6ヶ月以下の懲役または30万円以下の罰金

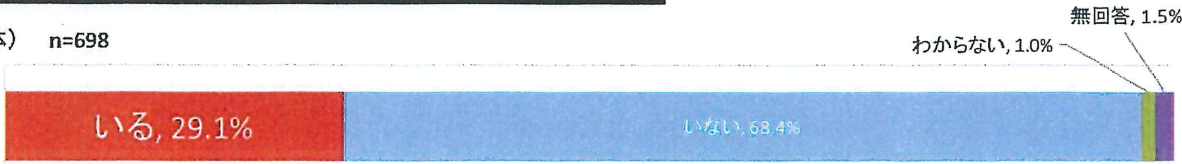
将来的には一般労働者と同じ**720 時間**に

○**改善基準告示の見直し**(拘束時間、運転時間等の見直し、令和6年4月から)

※違反すると… 労基署の是正指導、運輸支局の行政処分(車両停止)

時間外労働年960時間超となるドライバーの有無について

(全 体) n=698



(長距離運行中心) n=57



※全日本トラック協会「第5回働き方改革モニタリング調査結果」(令和5年1~2月調査)

長距離運行中心の事業者では、時間外労働960時間を超えるドライバーが「いる」割合が高い

改善基準告示(令和6年4月適用)

| 主な項目                  | 主な内容                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 年、<br>1 か月の<br>拘束時間 | 1年 <b>3,300 時間</b> 以内<br>1か月 <b>284 時間</b> 以内<br>【例外】 労使協定により、次のとおり延長可 (①②を満たす必要あり)<br>1 年 : 3,400 時間以内<br>1 か月 : 310 時間以内 (年 6 か月まで)<br>① 284 時間超は連続 3 か月まで<br>② 1 か月の時間外・休日労働時間数が 100 時間未満となるよう努める |
| 1 日の<br>拘束時間          | <b>13 時間</b> 以内 (上限 <b>15 時間</b> 、14 時間超は週 2 回までが目安)<br>【例外】 宿泊を伴う長距離貨物運送の場合、 <b>16 時間</b> まで延長可 (週 2 回まで)                                                                                           |
| 1 日の<br>休息期間          | 継続 <b>11 時間</b> 以上与えるよう努めることを基本とし、 <b>9 時間</b> を下回らない<br>【例外】 宿泊を伴う長距離貨物運送の場合、継続 <b>8 時間</b> 以上 (週 2 回まで)<br>休息期間のいずれかが 9 時間を下回る場合は、運行終了後に継続 <b>12 時間</b> 以上の休息期間を与える                                |
| 連続運転<br>時間            | <b>4 時間</b> 以内<br>運転の中断時には、原則として休憩を与える (1 回おおむね連続 10 分以上、合計 30 分以上)<br>10 分未満の運転の中断は、3 回以上連続しない<br>【例外】 SA、PA 等に駐車できないことにより、やむを得ず 4 時間を超える場合、 <b>4 時間 30 分</b> まで延長可                                 |

参考 (休憩)

労働基準法第34条 (抄)

8 時間を超える場合においては少なくとも 1 時間の休憩時間を労働時間の途中に与えなければならない。

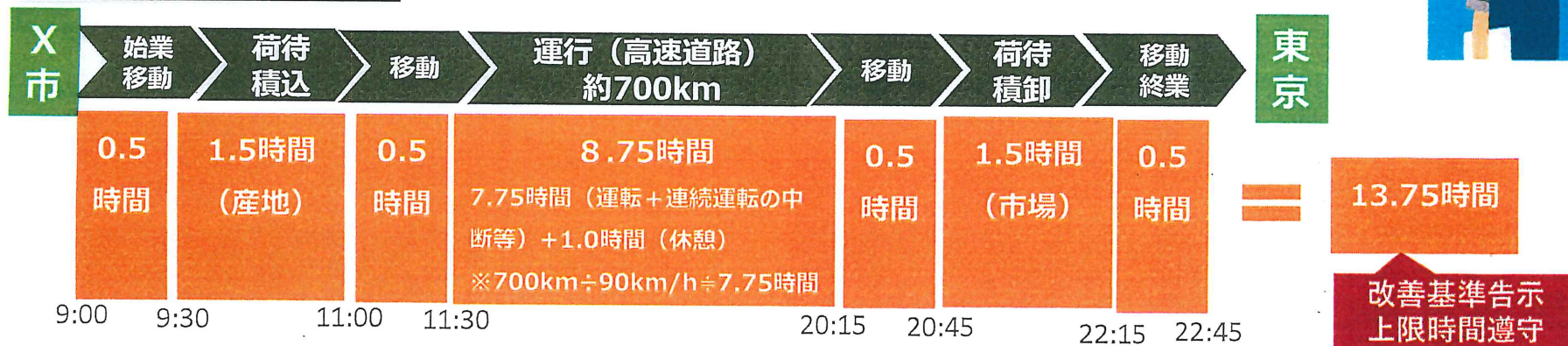
# 高速道路における平均速度のシミュレーション(1日の拘束時間)

## 70km/h (平均速度)

※法定速度は80km/hであるが、連続運転（4時間）の中断時間等を踏まえ平均速度を70km/hとした



## 90km/h (平均速度)



# 被災者の脳・心臓疾患の発症月、雇用年から脳・心臓疾患の発症までの期間、トラック運転者の脳・心臓疾患発症時の状況

- ▷ 脳・心臓疾患の発症時期は、1月～3月の厳寒期と7月～9月の猛暑期が多く、雇用年数では2年未満と15年以上に被災者が多かった。トラック運転者の事例では走行中での発症が最も多いが、事業場における荷扱い中での発症も多いのが特徴であった（第2-1 図、第2-2 図、第2-3 図）。

（「平成29年版過労死等防止対策白書」（厚生労働省）を加工して作成）

第 2-1 図 被災者の脳・心臓疾患の発症月

| (上段:%, 下段:件)  |            |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |
|---------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|               | 1月         | 2月        | 3月        | 4月        | 5月        | 6月        | 7月        | 8月        | 9月        | 10月       | 11月       | 12月       |
| 全体<br>(n=415) | 10.1<br>42 | 9.9<br>41 | 9.6<br>40 | 7.0<br>29 | 7.2<br>30 | 8.0<br>33 | 9.4<br>39 | 9.4<br>39 | 8.9<br>37 | 6.3<br>26 | 7.0<br>29 | 7.2<br>30 |

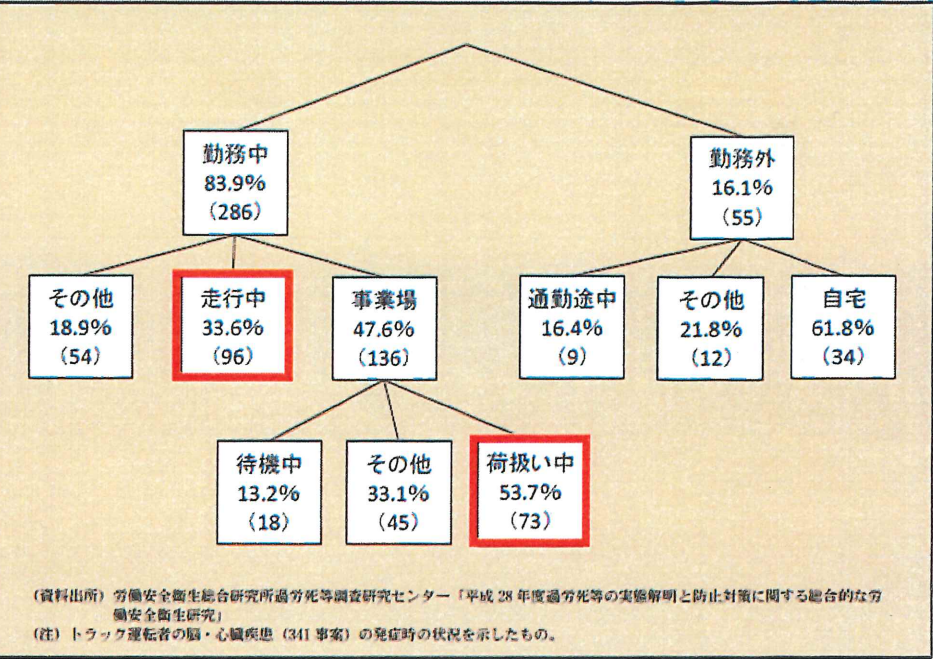
(資料出所) 労働安全衛生総合研究所過労死等調査研究センター「平成 28 年度過労死等の実態解明と防止対策に関する総合的な労働安全衛生研究」  
(注) 「運輸、郵便業」のうち、自動車運転者従事者であって、運転業務が脳・心臓疾患の原因となった事案を集計

第 2-2 図 被災者の雇用年から脳・心臓疾患の発症年までの期間

| (上段:%, 下段:件)  |            |              |              |              |              |              |              |              |              |               |                |                |                |                |                |            |  |  |
|---------------|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------------|--|--|
|               | 1年未満       | 1年以上<br>2年未満 | 2年以上<br>3年未満 | 3年以上<br>4年未満 | 4年以上<br>5年未満 | 5年以上<br>6年未満 | 6年以上<br>7年未満 | 7年以上<br>8年未満 | 8年以上<br>9年未満 | 9年以上<br>10年未満 | 10年以上<br>11年未満 | 11年以上<br>12年未満 | 12年以上<br>13年未満 | 13年以上<br>14年未満 | 14年以上<br>15年未満 | 15年以上      |  |  |
| 全体<br>(n=409) | 14.4<br>59 | 12.0<br>49   | 9.1<br>37    | 6.8<br>28    | 6.4<br>26    | 5.8<br>23    | 3.2<br>13    | 6.4<br>26    | 3.2<br>13    | 3.7<br>15     | 4.5<br>18      | 1.7<br>7       | 2.7<br>11      | 1.2<br>5       | 2.0<br>8       | 18.1<br>74 |  |  |

(資料出所) 労働安全衛生総合研究所過労死等調査研究センター「平成 28 年度過労死等の実態解明と防止対策に関する総合的な労働安全衛生研究」  
(注) 「運輸、郵便業」のうち、自動車運転者従事者であって、被災者の雇用年から発症年までの期間が把握出来なかった事案を除く。

第 2-3 図 トラック運転者の脳・心臓疾患発症時の状況

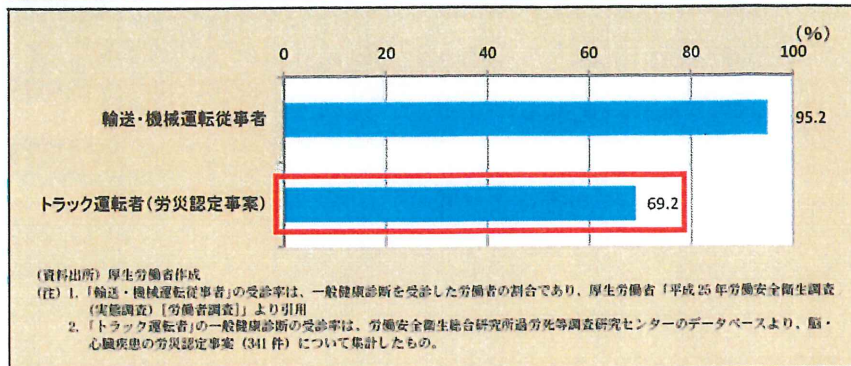


## トラック運転者（労災認定事案）の健康診断受診率

- ▷ 労働安全衛生法に基づき実施しなければならない健康診断について、トラック運転者の健康診断受診率をみると、厚生労働省で実施している平成25 年「労働安全衛生調査（実態調査）」では、トラック運転者が含まれる「輸送・機械運転従事者」は95.2%であるところ、脳・心臓疾患の労災認定があったトラック運転者は69.2%であり、受診率が低い結果となっている（第2-4 図）。

（「平成29年版過労死等防止対策白書」（厚生労働省）を加工して作成）

第2-4 図 トラック運転者（労災認定事案）の健康診断受診率



## 労働時間以外の要因別にみたトラック等運転手の脳・心臓疾患事案数の割合

- ▷ 運転業務従事者の脳・心臓疾患事案415 件のうち、バス、タクシー、船舶の事案を除く341 件（以下「トラック等運転手の脳・心臓疾患事案」という。）について、時間外労働以外の要因についてみると、「拘束時間が長い」（58.1%）が最も多く、次いで「早朝勤務」（51.6%）、「不規則な勤務」（32.8%）の順であった（第1-1-4 図）。

（「平成29年版過労死等防止対策白書」（厚生労働省）を加工して作成）

第1-1-4 図 労働時間以外の要因別にみたトラック等運転手の脳・心臓疾患事案数の割合

